

ART GALLERY

北陸銀行アートギャラリー 富山大学地域連携推進機構プロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 後藤 敏伸



北陸銀行五福支店ギャラリー前にて支店長と院生の記念撮影

●プロジェクトの経緯

平成22年度、「国立大学法人富山大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力に関する覚書」に基づき、富山大学地域連携推進機構と北陸銀行との連携推進事業の一環として、富山大学五福地区正門前の北陸銀行五福支店正面ウィンドウを作品展示用のギャラリーとしてリメイクしたことに伴って起動したプロジェクトである。関連学部としての芸術文化学部へ作品展示の要請が地域連携推進機構より行われた。

そのプロジェクトの推進と企画を学部長より拝命し、北陸銀行五福支店支店長と展示内容の確認や、展示周期、運搬、展示、管理等について両者の責務を含め話し合いを持った。

そこで出された結論は、両者の確認事項として順次推進して行くことが決定された。詳細は、富山大学本部前に位置しているギャラリー故、本学への訪問者等の目に触れるものでもあり、芸術文化学部の教員、大学院生の作品を中心に、展示期間2ヶ月の周期で展示を行うことや、大学院生に対しては謝礼として図書券を授与すること、運搬や展示については学部で責任を持って行い、管理については銀行側が全責任を負うこと等である。更に、展示時間の延長（深夜12:00まで）や芸術文化学部の名称パネルを常に掲示することも併せて確認された。

●ギャラリー展示メンバー

- 第1回 後藤敏伸（立体作品）
芸術文化学部教授
- 第2回 安達博文（平面作品）
芸術文化学部教授
- 第3回 斎藤晴之（立体作品）
芸術文化学部准教授

- 第4回 後藤千香（平面作品）
芸術文化学研究科大学院1年生
- 第5回 西川紗絵子（立体作品）
教育学研究科大学院2年生
- 第6回 桜井裕子（平面作品）
芸術文化学研究科大学院1年生
- 第7回 松井麻里子（立体作品）
教育学研究科大学院2年生

以上今日までの展示メンバーとなっているが、随時芸術文化学部実技系教員と大学院生を中心に展示運用して行くことになる。

●プロジェクトの効果

北陸銀行五福支店は本学正門前に位置し、大学関係者（訪問者を含む）や学生、一般住人など日常的に多くの往来がある。ギャラリーの仕様も正面通路に大きく開口部を持ち、往来する車や人々の目につく設計がされており、室内型のギャラリーとは異なる。夜間でもライトアップされウィンドウ型ギャラリーの特性を持つ。そのギャラリー内部に常時富山大学芸術文化学部の広報用ポスターと、教員、及び大学院生の作品が展示されていることは大きな意味となる。学部広報の意味においても、教員、院生の成果展示という意味に於いてもである。

また、銀行側に於いてはメセナ活動のPRにも、来店者へのサービス、あるいはエクステリア、ウィンドウディスプレイ等の美的効果が期待されるのである。つまり、連携両者にとって利のある企画と言えよう。

また、北陸銀行高岡支店に於いても同様の連携が後発ではあるが進んでおり、その実施責任者は本学部高島圭司講師が務め、学部学生が作品を提供している。

プロジェクト実施責任者／後藤敏伸



プロジェクト第1回ギャラリー展示



プロジェクト第4回ギャラリー展示(院生作品)